

令和4年度 外国語 授業改善推進プラン

大田区学習効果測定 結果の分析

- 問題の内容別正答率では、6年生は9項目中7項目が目標値を下回った。
- 領域別正答率では、6年生は3領域中3領域において目標値を下回った。
- 観点別正答率では、6年生は3観点中3観点において目標値を下回った。

	全体	聞くこと	読むこと	書くこと
目標値	81.6	81.8	79.3	82.3
校内平均正答率	78.2	81.1	78.9	74.2
ポイント差	▲3.4	▲0.7	▲0.4	▲8.1

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回った。 単語の意味理解の正答率は高いが、アルファベットの読み書きにおいては目標値を下回る項目があり、他の項目に比べて課題がある。	目標値を下回った。 会話全体の理解（聞く）では、天気や持ち物等、日頃から慣れ親しんでいる会話は目標値を上回った。一方、短い物語を聞き、話の概要を捉えることにおいては目標を大きく下回り、課題として残った。	目標値を下回った。 英作文は、例文を参考にしながら書く問題で、いずれも目標値を下回った。特にその人との関係を表したり、人物の性格を表す作文は目標値を大きく下回り、課題として残った。

課題〈今回の調査結果から〉

- 活字体の読み書きに慣れていない傾向が見られる。大文字・小文字の区別や似ている文字を比べて違いに気付かせるなど、文字の特徴について、視点を与えてから書く活動を増やすようにする。
- 日常会話に関する対話において、目的や場面、状況などを推測する力に課題がある。何を聞き取ればよいかを事前に意識してから、聞き取りに臨むよう指導していくようにする。

- 短い物語については、単元毎に提示されている物語を繰り返し聞く活動を通して、聞き取った単語から、状況や場面を推測させるよ